

編集後記

平成8年度の水辺空間整備等に関するリバーフロント研究所報告をお届けいたします。

毎年のことではありますが、業務の繁忙な折りに締め切りに間に合わせるための努力を行っていただきました、執筆者の方々にまず御礼申し上げます。

最近では、公共事業の見直しの一環として、様々な方面で事業の先送りが決定しております。このような中、我々技術者には、今まで以上により質の高い技術と知見が求められる時代になりつつあることを感じるものであります。

さて、今年度の報告書においては、昨年同様に英文の概要や図表の名称を付けました。専門用語等まだ認知された用語のないものもあり、不備の点が多々あるかと思われませんが、徐々に整備を図るつもりなのでご容赦の程お願いいたします。

論文としては、高規格堤防の安定性や機能に関するもの、水循環や水量・水質に関するもの、多自然型川づくりに関するもの、魚ののほりやすい川づくりに関するもの、景観に関するもの、海岸の関係等が報告されております。全体としては、多自然型川づくりや魚ののほりやすい川づくり、良好な水循環の確保といった自然環境の回復や生態学的な調査報告が多く、今日的課題が反映されていることの表れかと思われます。

今後とも、この報告書が皆様のお役に立つように、テーマの検討を含め益々努力する所存でありますので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

編集担当 研究第三部 片田 雅文
江崎 竜二

1997年3月31日発行

リバーフロント研究所報告

第8号

発行者 財団法人 リバーフロント整備センター
〒102 東京都千代田区三番町3番地8
(泉館三番町3階)
TEL 03-3265-7121 FAX 03-3265-7456

印刷所 西印刷株式会社
